

人権協シンボルマーク



いろんな人と人とのつながり、  
ふれあいを美浜のMと波で  
イメージしました。

# ふれあい

美浜町人権尊重啓発協議会会報

## 第67号

発行：平成31年2月22日  
(年3回発行)

編集：人権協広報部会

連絡先：美浜町生涯学習課

TEL 32-1212

FAX 32-1222

E-mail: jinkenkyo@town.fukui-mihama.lg.jp

生涯学習センターなびあす

12月8日(土)

## ～2018 人権のつどい～



12月8日に、生涯学習センターなびあすで人権のつどいを開催しました。2部構成の第1部は、ピアニスト・辻井伸行さんの母である辻井いつ子さんによる講演会でした。辻井伸行さんは全盲でありながら、2000年のヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールで日本人初の優勝を果たし、現在も世界の第一線で活躍されています。

講演会では、息子・伸行さんと歩んだ年月を振り返りながら、子どもの才能の見つけ方や伸ばし方について語られました。

辻井さんは、「色々なことを体験する」ということが子どもにとって大切と語られました。伸行さんも、自分がやりたいと思ったスイミングスクールやスキー教室等に通ったとのこと。「人間は生まれた時、可能性をたくさん持っています。前例がないからと言って、やってはい

けないのでしょうか。人間の可能性は、まわりがジャッジするものではありません」「才能がなくても、子どもに好きなことがあれば、それを応援してあげてください。それが将来の職業に結びつかなかったとしても、それはその時考えればいいと思います」「子どもに将来の夢を尋ねて、たとえそれが大変な夢だったとしても、『あなただったら大丈夫。応援するわ』と声をかけてあげてください」等と、力強く語られました。

第2部は、シンガーソングライターのyokko（よっこ）さんによるライブを開催しました。yokkoさんはピアノの弾き語りを始めて1年半ほどが経った頃、約2週間まったく声が出なくなった経験をお持ちの方です。幸いにも声は出るようになりましたが、そのときの経験から手話をつけて歌い始め、聴こえる・聴こえないに関係なく、より多くの方がともに楽しめる場所づくりを目指しておられます。

歌詞を手話で伝えながら歌ったり、観客に手話をレクチャーし、一緒にパフォーマンスしたりと、会場を盛り上げてくださいました。



ハンディキャップがあるから何もできない、そう決めていたのが今までの自分でした。可能性は誰にでもあつた。親としていかにそれを信じて伸ばしてやるかを教えて頂いた講演会でした。

全盲の息子と二人三脚で歩んだ人生に感動しました！！子供にプレッシャーをかけない子育てが参考となった。

今日のこうえん会は、とてもたのしかったです。どうして今日来たかという友だちとしゅわをやってみようということできました。二人の友だちはこれませんでした。がっこうでおしえてあげようとおもいます。今、なびあすでしゅわのほんもかりています。ありがとうございました。

素敵な歌に癒されました。ありがとうございました。手話も楽しかったです。

第 5 回 町 民 人 権 講 座

# やってみなきゃ わかんないっしょ!!

10/thu  
18



今回の講座の講師は『映画ビリギャル』として映画化された、坪田信貴著『学年ビリのギャルが1年で偏差値を40上げて慶應大学に現役合格した話』の主人公、小林さやかさんでした。「ビリギャルの物語は私ではなく、うちの母が主人公」と切り出し、成績が学年ビリまで下がったり、無期停学となったりしたわけ、そしてそこから母の勧めで行った塾の先生との出会いにより慶應大学を目指すようになったこと、仲の悪かった父への憎しみをばねに、そして自分を信じて協力してくれた母への感謝の気持ちでやり抜いた受験についてお話いただきました。

その中で、不可能を可能にする5つのコツ、(1) ワクワクする目標を設定しよう (2) 根拠のない自信を持つ (3) 具体的な計画を立てよう (4) 目標や夢を公言しよう (5) 憎しみをプラスに変えるべし! を小林さんの経験に基づいた生の声で教えてくださいました。

「できるかできないかではなく、やるかやらないか」、そして、人それぞれワクワクする目標が違うので、自分で考え、自分で決めた「ワクワクする目標」を持つことが大切と強調されました。

最後に、これから本当に必要となるのは、偏差値ではなく、思考力や行動力の経験値であり、新たな挑戦を繰り返す力を養うことが大切と締めくくられました。



子どもの可能性は無限なんだと改めて感じられました。そして、その可能性を引き出すのも、大人なんだと思います。子どもが心を閉ざしてしまわないよう、いいところをたくさん見つけて伝えてあげることが大切だと思います。自己肯定感一度失うとなかなか取り戻せないものだからこそ小さなうちから大切にしたいと思います。さっそく明日から子供たちのいいところどんどん伝えていきたいです。

今、私は高校2年生で、受験について勉強について悩んでいます。映画ビリギャルを見て、自分と重ねられる部分やすごいと思う部分が多くありました。今日の講座で「出来るかできないかではなく、やるかやらないか」この言葉が心に刺さりました。テスト、受験、自分なりに努力してみようと思います。

第 6 回 町 民 人 権 講 座

# 「そっとしておけば…」は許されない

11/wed  
14



11月14日に、今年度最後の第6回人権講座が、山口県人権啓発センター事務局長の川口泰司氏を講師に迎えて開催されました。

【「寝た子」はネットで起こされる!?～部落差別は、いま～】という演題のもと、時間一杯熱心に語られました。

「今でも部落差別ってあるの?」ってとらえている現在の市民感覚にメスを入れながら、部落問題の現況について鋭くとらえた観点で話を進められました。特に、ネット上における部落差別の現状について、ネット上の人権侵害が2017年には2217件あり、年々増えているということ、その中で法務省の削除要請率が25%もあったことなど具体的な事例を挙げながら、現在の人権侵害の問題点を私たちに訴えておられました。表に出て面と向かってというよりも、姿を隠してのネット上の差別問題の巧妙さ、怖さを感じさせられました。

今後、部落問題学習・研修がますます必要になってくること。特に、若者の部落問題に関する認識の低さに懸念を抱かれ、若者に対する部落問題学習の大切さを強く語られました。この講演を聴いて、再度原点に戻って部落問題について考えていかなければという思いを強く持ちました。



過去の部落問題、現在の部落問題について、もっと学ぶ必要があると分かりました。ネットの現状や被害者の方の気持ちを聞いて、とても悲しくなりました。今の私に出来る事を考え続けていきたいです。

無知、無理解、無関心の人が加害者になる。子供がいる身なので親がキャッチャーになっていろんな話を聞いてあげて話をしてほしいと思った。

「寝た子の起こされ方が一番大事」と思いこの講演に出席しました。ネットによって起こされる...とても恐ろしく感じました。



# みんなよろこぶ ちからこぶ 美浜元気太郎

## 人権共同作品作り

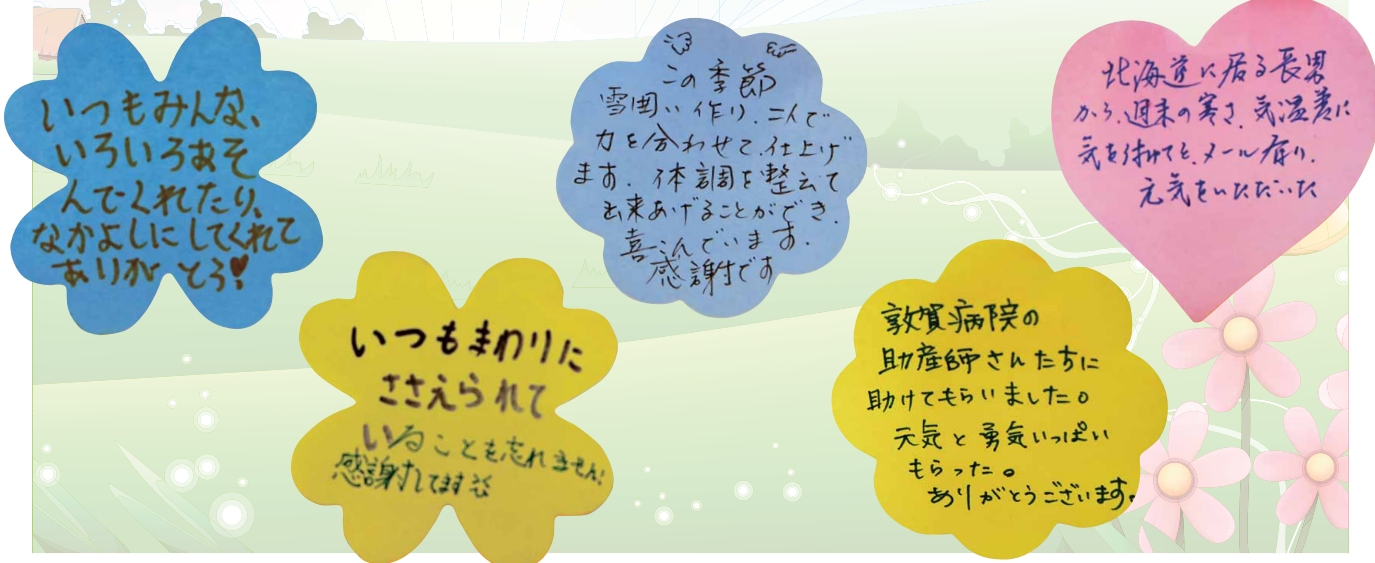
人権協では毎年、12月4日からの人権週間に合わせて、なびあすに来場いただいた多くの皆さんに参加して頂き、人権共同作品作りを行っています。

今年は「みんなよろこぶ ちからこぶ 美浜元気太郎」と題して、誰かから・何かから力をもらったことを付箋に書き記し、力こぶ型のオブジェに貼り付けていく取組をしました。



家族や友人、地域の人たちと生活して「元気づけられたなあ」「勇気づけられたなあ」「きっかけをもらったなあ」「助けられたなあ」というメッセージを、小さい子から年配の方まで、多くの方がどんどん書き加えてくれました。中には心が暖くなるイラストを貼ってくれる子もいました。

現在もなびあすに展示してあります。なびあすにお越しの際にはぜひともご覧いただき、たくさんの方のエピソードの中から、暖かい繋がりを感じていただきたいと思います。



いつもみんな、  
いろいろおそ  
んでくれたり  
なかよししてくれて  
ありがとう!

この季節  
雪囲い作り、ニエ  
カを合わせこ仕上げ  
ます。体調を整えて  
お楽しみすることができ  
喜んでおります。  
感謝です

北海道に居る長男  
から、週末の寒さ、気温差に  
元気づけて、メール有り。  
元気をいかに伝

いつもまわり  
に  
こえられて  
いることも忘れません。  
感謝しています

敦賀病院の  
助産師さんたちに  
助けられました。  
元気と勇気いっぱい  
もらいました。  
ありがとうございます

### 人権コラム▽ 南 完治さん

花が一斉に咲き誇り、穏やかな春の陽が注ぐベランダ。

肌寒さ避け、春の温もりを浴びゆったりとくつろぐ猫。

しなやかな体でやわらかく美しい被毛、ビー玉のような瞳、見た目も可愛いが、喉をゴロゴロ鳴らしたり、足でフミフミする猫のしぐさには癒されます。

猫が喉をゴロゴロ鳴らすのは、母猫から乳をもらう時うまく乳を飲んでいることを伝えるためらしい。

このことから「嬉しくて幸せな気持ち」である時に、喉を鳴らすというのは間違いない。やわらかいクッションや毛布、あるいは飼い主の腹の上で一生涯懸命に足でフミフミするしぐさは「前足踏み」と言われ、子猫の頃に母猫のおっぱいを前足で交互に踏み、乳がよく出るように促していたことの名残と言われています。

猫がリラックスして、甘い気持ちと同時に眠たくなって、まるで主人を母猫のように信頼しているしぐさが愛おしくも思えます。

ところで、日本で暮らす猫の種類は、メジャーな猫種で約50種類あるそうで、CFAやTICAなど猫の公認団体が認めていないマイナーな猫種も含めると100種類以上あるそうです。

最近、様々な種類の猫が海外から日本に入ってきていますが、日本に昔からいる猫の種類は8種類と言われています。

NHKBSプレミアムで放送されている「岩合光昭の世界ネコ歩き」でご存じの、動物写真家岩合さんは「猫は人間とともに世界に広まった。だからその土地の猫はその土地の人間に似る!」と言っています。

更に、「この星に猫がいる幸せ」「猫が幸せになれば人も幸せになり、地球も幸せになる」と言われています。

猫には猫種の種別が有っても、猫社会には差別はありません。

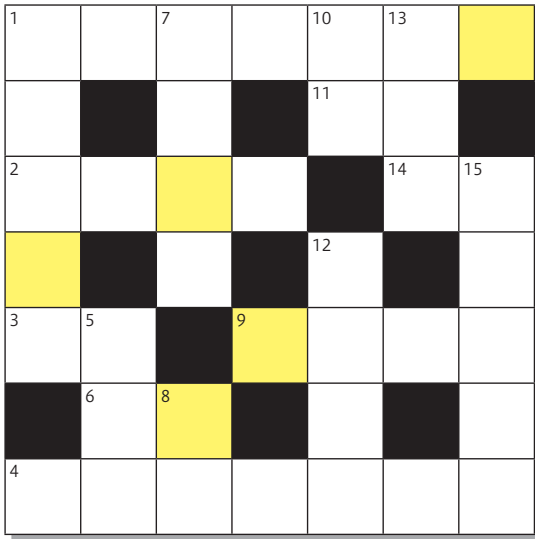
種を超えて、穏やかで平和な猫社会に学びたいです。

「誰でもいいから手伝って」と「猫の手」の「猫」を軽く扱ってはならないのです。



「ふれあい」第66号をお読みになった読者の方より、多数のおたよりが寄せられました。ありがとうございます。紙面の都合上、その中のいくつかを紹介し

- ◆「ふれあい」の発行お疲れ様でした。年3回編集・発行されるのは、事務局の皆様は大変かと思いますが、今後も人権に関する情報発信をどうぞ宜しくお願いいたします。編集後記にありましたように、残念ながら我々の中には少なからず偏見があることと思います。そういったことに少しずつ気づきを与え、その中で考えや行動を見直すことの繰り返しが、人権を尊重する地域や社会に繋がっていくものと思います。そのためには、絶えず情報発信をつづけていただくことが大切だと思います。大変なお仕事かと思いますが、引き続き魅力的な紙面作りをどうぞ宜しくお願いいたします。(I・Sさん)
◆「ふれあい」を楽しく読ませていただいています。87才に成る現在、今回の記事の中での「認知症・・・」はとても興味深いものでした。最近脳トレ(本)を1日に数ページしていますが「ふれあい」のクロスワードも楽しいです。これからも記事、クロスワード他、楽しみにしています。(I・Sさん)
◆私は今まで人権協などの活動のことについて余り知らず、これから少しずつ自分なりの考えで考えていくべきだと思います。本当にこれからはクロスワードの答えのようにタスケアイの気持ちでも何事にも接すべきだと思っております。(Y・Jさん)

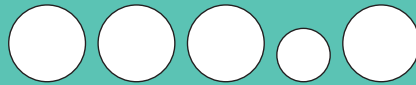


応募方法 (郵送、FAX、E-mailいずれかをお願いします)

- 答え・住所・氏名を別紙とじこみ用紙に書いて下記までお送り下さい。〒919-1141 美浜町郷市29-3 生涯学習センターなびあす内 人権協事務局 ※FAX (0770-32-1222) E-mail (jinkenkyo@town.fukui-mihama.lg.jp)
●〆切は、平成31年4月30日(火)です。
●正解者の中から抽選で、図書カードをお送りします。
●前号の人権クロスワードの正解は「タスケアイ」でした。
たくさんのご応募、ありがとうございました。今回の当選者は
秋山 淳子さん 高木 昌代さん 瀬戸 和子さん
竹仲 みさえさん 武藤 実学さん
以上の皆さんです。おめでとうございます!

人権クロスワードパズル

黄色のわくの中の文字を使ってできる言葉が答えです。



ヒント：相手の気持ちを「○○○○○」する

ヨコのカギ

- 1. 2月の祝日「○○○○○○○○の日」。
2. 1926年12月25日から始まりました。
3. 再来年の干支です。
4. 通信会社が電話回線等を家に届けるために立てる柱。
6. 裁判所に訴えを起こすこと。
9. 体操男子の6種目。床運動、あん馬、つり輪、平行棒、鉄棒とあと1つは何?
11. 割合や歩合のこと。
14. 人が集中し、政治・経済・文化の中心となる地域。衛星○○、近代○○、姉妹○○。

タテのカギ

- 1. これを勝てば優勝です。
5. 非常に近いこと。○○○距離。
7. 巡り合わせが良く、運がいいこと。
8. 邪魔をして、相手のしたいようにさせないこと。
10. 板などに穴をあける工具。
12. 馬に乗ること。
13. 卓球やテニスで、自分と相手のコートを仕切るもの。
15. 寒い日に地表の水分が凍って柱状に凍ったもの。

編 集 後 記 に 代 え て

人の値うち

江口いと

何時かもんべをはいて
バスに乗ったら
隣座席の人は私を
おぼはんと呼んだ
戦時中よくはいたこの活動的なものを
どうやらこの人は年寄りの
着物と思っているらしい
よそ行きの着物に羽織を着て
汽車に乗ったら
人は私を奥さんと呼んだ
どうやら人の値うちは
着物で決まるらしい
講演がある
何々大学の先生だと言えは
内容が悪くとも
人々は耳をすませて聴き
良かったと言う
どうやら人の値うちは
肩書きで決まるらしい
名も無い人の講演には
人々はそわそわして帰りを急ぐ
学歴で決まるらしい
立派な家の娘さんが
部落にお嫁に来る
でも生まれた子供はやっばり
部落の子だと言われる
どうやら人の値うちは
生まれたところによって決まるらしい
人々はいっつの日
このあやまちに気付くであろう
『江口いと人権の詩 人の値うち』
(明石ブックレット)より